

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスプライム・放課後等デイサービスプライム2	公表日 令和7年3月28日					
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	利用児童数	回収数
環境 ・ 体 制 整 備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	1	0	0	・広くて使いやすい印象。 ・とても広いのでゆったり過ごせているようです。 ・十分だと思います。 ・子どもたちが活動するには良い広さだと思います。 ・とても広く子どもが思いっきり活動するにはいい環境だと思います。	国際基準は児童一人当たり2.47m ² ですが、プライムは一人当たり6.3m ² を確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1	0	2	・職員の入れ替わりが多く、現在の状況がよくわかりません。	新しい職員につきましては送迎で紹介させていただいておりますが、プライム通信でも紹介させていただきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	2	0	0	・問題ないと思います。	プライム1は2階なので身体障害者は受け入れを行なっていませんが、室内はバリアフリーとなっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	1	0	0	・清潔&楽しく過ごせる空間になっています。 ・問題ないと思います。 ・動き回れるほどの広さとみんなで調理できるキッチンスペースがあるのでいいなと思います。	支援後毎日掃除機をかけたり、テーブルやロッカーは使用後アルコール消毒を行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	0	0	1	・子どものことをしっかりと見て適切な指導をして下さっていると思っています。 ・「専門」というと言語療法や作業療法などが思いつくが、そのような支援は取り入れられていないと思うので。 ・よく理解していただいている。 ・問題ないと思います。	理学療法士や言語療法士、作業療法士は現在在籍しておりませんが、4月には理学療法士が入ってくる予定です。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	0	0	0	・問題ないと思います。	支援プログラムを元に日々のプログラムを組んでいます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	0	0	0	・子ども第一で考えてくれていると思います。	アセスメントをしっかり行って放課後等デイサービス計画を作成させていただいております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	0	0	0	・問題ないと思います。	プライムだけで困わず必要な支援が受けられるよう横の繋がりを大切にしています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	0	・問題ないと思います。 ・子どもの性格を良く理解してください、その場その時に合わせて対応してくださいとの助かっています。	焦らず、無理せず一步ずつ成長していくほしいと考えます。
適切 な 支 援 の 提 供	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	2	0	0	・これからも色々なはじめてをお友達と体験できるような活動プログラムをお願いします。 ・毎日違うプログラムが組まれてて、土曜日には外食やイベントなど様々な経験ができるいつもありがとうございます。 ・毎回楽しめるイベントが多い。感謝です。 ・季節行事に限らず市外遠足や手作り調理など飽きなさそう。 ・イベント事も多く楽しく参加させてもらっています。外食体験は自分で考え作文。親と一緒につい親が口を出してしまいがちなので有難いです。 ・問題ないと思います。 ・いつも色々な経験をさせて頂き子どもが喜んで参加しています。普段なかなか出来ないようなことを体験出来てありがたいです。	土曜日は調理、パン作り、お出かけ、外食、映画鑑賞、カラオケなど各種イベントを企画しております。 日々の活動においてもゲームや工作など予定を立てて日々活動が固定されないように工夫しております。

	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19	10	0	9	・イベントで地域の方との交流がありました。 ・発達児のため特定の限られたお友達としか遊ばない。 ・よくわかりません。	児童館や近隣の公園に遊びに行った際は公園で遊んでいるお子さんと一緒に遊ぶこともあります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0	・きちんと説明していただいた。 ・問題ないと思います。	契約の際、またはモニタリング等において説明させて頂いています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	0	0	0	・きちんと説明していただいた。 ・問題ないと思います。	送迎時等において説明させていただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	0	0	1	・川口市の広報に載ってる情報共有がありました。 ・問題ないと思います。	ペアトレは行っていませんが毎年血商社に紹介しています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37	0	0	0	・些細なことも聞いていただけて有難い。 ・十分できています。 ・問題ないと思います。 ・送迎時にその日の様子を詳しく話してくださいと先生と少しの挨拶で終わる先生がいらっしゃるので、もう少しお話を聞かせて頂けると嬉しいです。連絡帳には書いているのですが。	添乗員によって対応が違うということは申し訳ございません。日々の活動等がしっかりと伝えられるようにいたします。送迎時は他のお子様も同乗しているため、その日のことは連絡帳に記載させていただいています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	0	0	1	・困ったときにすぐに話しを聞いていただける。 ・情報共有ができると思います。	親御さんからの相談事においては丁寧に対応させていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	0	0	0	・必ず共感的に接して下さる。 ・十分してくれています。 ・できていると思います。	何でもお伝えいただき共通の認識で支援していくことを大切にしています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	32	3	0	2	・保護者会に参加できて保護者の方ともお話ししがれて良かったです。 ・初めて知ることが多く情報共有できて良かったです。ありがとうございます。 ・保護者会もとても楽しかった。 ・妹もプライムのイベントを楽しみにしているようです。 ・今後も続けてほしいと思います。	保護者会を毎年2回開催させて頂いております。来年度も2回開催する予定です。 また、今年度は「親子ヨガ教室」を開催させていただきました。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	0	0	0	・いつも親身に共感しつつ的確なアドバイスをして下さり、本当に感謝しています。ありがとうございます。 ・いつも対応していただいている。 ・突然学校を休みたがることがあります。 ・問題ないと思います。	「放課後等デイサービス計画」のための面談に限らずいつでも遠慮なくご相談ごとのご連絡を承っています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	0	0	0	・問題ないと思います。	連絡帳の他電話やLINEでも受け付けています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	37	0	0	0	・子どもと一緒にプライム通信とインスタを見ていいつも楽しく見ています。たくさんの写真でより活動の様子を知ることができます。 ・プライム通信を見るのが楽しみです。 ・通信もインスタも楽しく拝見しています。 ・インスタの写真いつも楽しみです。 ・ホームページやSNSはあまり確認しませんが通信はよくできていると思います。 ・いつもたくさんの写真を載せて頂きおじいちゃん、おばあちゃんもその様子を喜んで見ています。	ありがとうございます。 子どもたちのプライムでの様子を知り、安心して利用していただけるよう取り組んでいます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	1	・問題ないと思います。	個人情報を頂く際は目的をきちんとお伝えいたします。
非常時等の対	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	3	1	1	・子ども向け用の各マニュアル訓練計画を実施前、後の報告書はないように気がします。 ・問題ないと思います。	訓練は毎月の活動予定表に記載して事前にお伝えしています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	2	0	2	・定期的にされていると思います。	火災や地震を想定した消火や避難・通報訓練を行っています。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	0	0	1	・企画が取り組めるシフト月で十分かと思われます。 ・安心して利用できています。	研修やトレーニングを毎月行い実践しています。

応 26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1	0	2	・問題ないと思います。 ・子どもの性格を良く理解してくださつて、その場その時に合わせて対応してくださいるので助かっています。 ・ケガをした時は毎回きちんと状況、状態を説明してくださります。	事故のないよう努めてまいります。
	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0	・受け止めてもらっているとわかる信頼があつて安心しきついて自分を出しているなと思っています。 ・毎日楽しく通えている。 ・穏やかな先生が多く、落ち着いて過ごせているようです。 ・親は勿論安心しています。子どももうだとうだと思います。 ・学校よりプライムを楽しみにしています。 ・有意義にできていると思います。 ・プライム大好きです。	安心できる居場所となれるよう指導員一同心を合わせて参ります。
満足度 28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	0	0	0	・とても楽しみに通えています。 ・楽しみにしています。 ・毎回喜んで行かせてもらっています。	「明日も行きたい」と楽しみにしてもらえるように様々な活動を準備しています。
	事業所の支援に満足していますか。	37	0	0	0	・親子共に大満足です。ありがとうございます。 ・大変満足しています。 ・大大大満足です。 ・大変助かっています。ありがとうございます。 ・大大大満足しています。 ・とても満足しています。 子どもに寄り添った対応をして頂けるので大変ありがとうございます。	ありがとうございます。 気になることがありましたらいつでも遠慮なくお申し付けください。

(別紙 5)

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスプライム・放課後等デイサービスプライム2					公表日 令和7年3月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		構造上見えない場所はあるが工夫している。	国の基準は児童一人あたり2.47m ² だがプライムでは6.3m ² 確保している。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	6	介助の必要に応じて配置を工夫している。	国の基準は児童10名に対して指導員は2人以上となっている。プライムでは1対2で対応している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	二つあるトイレの内一つは車椅子でも使用できる造りになっている。	2回なので身体障害児は受け入れていなが、室内はバリアフリーとなっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	必用に応じてアルコール消毒をしている。	毎日支援後に清掃しております。また嘔吐物処理キットを施設内だけでなく送迎車の中にも用意している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2	個室があり職員が付き落ち着けるように関わっている。	必用に応じて個室での対応を行っている。	

業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	2	体制を整え始めたところ。	活動の前後にミーティングを行い職員間で情報を共有し全員が周知できるようにしている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	保護者会や保護者からの意見連絡等で話し合いをしている。	年に 1 回アンケートを実施し、業務改善に努めている。また、日々保護者等と連携を図っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			支援開始前申し送り、支援後に振り返りを行って職員の意見を把握し、業務改善につとめている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7		第三者評価については今現在行っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		トレーニングを定期的に行っている。法人内でのZOOM研修が毎月行われ非常に勤も参加している。	毎月法人主催のトレーニングをZOOMで行っている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			インスタグラムにて公表している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			年に 2 回保護者にアセスメントを行っている。その際保護者と十分話し合いを行い計画の作成にあたっている。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		全員が参加し共有している。ミーティングを行って共通理解に努めている。	月に 1 回kids MTGを行って全職員で話し合いを行い、共通理解を深めたり情報共有を行っている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		何が必要かを話し合い意識している。共有している。	日々子どもの目標を明確にしながら支援にあたっている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		状況や行動など話し合い確認している。	アセスメントシートを参考にし、一日の様子を職員間で話し合っている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		家族支援、地域連携の大切さを意識して支援している。	職員や保護者との話し合いの中で支援内容を決め、子どもに必要な活動や項目を設定している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	内容が決まってないときがあるが支障が出ないよう話し合いができる。	主に集団活動だが児童発達支援管理責任者を中心に活動プログラムをみんなで決めている。

大切な支援の提供	該当する項目番号	該当する項目の内容	該当する項目の得点	該当する項目の回答数	該当する項目の評議事項	
					該当する項目の評議事項	該当する項目の評議事項
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	日々を考えて全員が参加できるように工夫している。	内容を少しづつ変えることで固定されないように工夫をしている。	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		計画に基づいて日々の活動に何が必要かを話し合い行うようにしている。	放課後等デイサービス計画の中に組み入れ保護者に伝えている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	支援の必要な状況に合わせて関係性ができている職員が対応している。	児童発達支援管理責任者を中心にその日の活動や子ども様子、支援の方法について話し合いを行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		意見を出し合い次に繋げていくようにしている。 申し送りノートを記入し休みの人にも分かるようにしている。	児童発達支援管理責任者を中心に支援後に振り返りを行ってその日の子どもの様子で気付いたことなどを話し合って情報共有を行うと同時に申し送りノートに重要な事項を記載し、その日支援に入っていた人にもわかるようにしている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2	その日の内に記録し話し合って方向性を決めている。	申し送りノートを活用している。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1		最低でも半年に1回は保護者と面談を行い、計画の変更等について話し合いを行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	1	分かりやすく行っている。 日常生活、生活リズム、自己肯定感等様々な体験を大切にしている。	基本活動を組み合わせて支援している。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	発言を促している。また言葉が出ない子には傍に付きフォローしている。	本人の意思を尊重している。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	2	まだやってはいないがこれからやっていこうと考えている。	担当者会議がない。今まで呼ばれたことはないが、児童発達支援管理責任者を参加させる予定ではある。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5		その都度何かあった場合連携をとれる体制にしている。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	2	管理者が定期的に行っている。	学校に管理者が行き子どもの様子を担任の先生から直接話しを聞いて情報共有をしている。また学校送迎時に先生と話をしてその日の様子を聞いている。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	5		見学やアセスメント時に保護者から情報共有を行っている。。	

関係機関や保護者との連携	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	5	問い合わせがない。 相談員から問い合わせがあれば提供している。	事業所や相談支援員からの問い合わせがあれば提供する。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	6	そのような機会がなかった。	必用に応じて助言や研修を受けている。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	公園で遊ぶことによって。 受け入れてるところがない。	児童クラブとの交流はありませんが、児童館や公園に行き他の子どもたちと遊んだりしている。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	4	管理者が参加し共有している。	事業所として参加している。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			送迎時や面談時において家庭での様子やプライムでの様子など情報共有することで共通理解ができるようにしている。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	家族へのペアレントトレーニング、講演会、研修、支援等を行っている。 様々な情報が入れば提供をしている。	保護者向けの研修会等の案内はしている。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			契約時に説明し確認をしている。保護者より不明な点がある場合はその都度説明している。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		毎回面談を行っている。	面談時に確認している。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		個別支援計画を説明する日を設けて意見や同意を得るようにしている。	面談時等に同意を得ている。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		管理者や児童発達支援管理責任者がしっかりと行き対応している。 いつでも受け付けている。また連絡帳やLINEでやり取りも行っている。	相談しやすい環境を作っている。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		保護者会を年に2回は必ず行っている。	保護者会は年に2回開催している。また保護者の方を講師として招き石鹼作りを行った。今年度は親子ヨガ教室を開催した。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		速やかに対応し共有するようにしている。 基本苦情は言えないと思うのでこちらからマメに聞くようにしている。	苦情はないがかった場合は迅速に対応する。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11		毎月プライム通信を発行している。またInstagramやFacebookで活動の様子を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		写真等は使用後は直ぐに削除し、外部に出ないようにしている。 鍵の付いた書棚において管理し十分に注意している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		体制を整え始めたところ。 視覚的に理解できるものなど、子どもに合わせた方法を活用している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	4	ハロウィンイベント等で地域に知らせ行っている。 招致はしていないが、ハロウィンイベントにおいて近隣の店舗や個人宅に伺ってお菓子をもらった。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	講習会があるときは職員全員参加し、保護者の方も参加された。 周知が難しい。 様々な状況に想定した訓練やマニュアルの周知徹底を心掛け、より細かい対策をしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		必ず作っていなければいけないので作っている。訓練も行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	1	アセスメントで確認を行っている。 その都度保護者に確認し対応している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	5	最初の面談等で確認し共有している。 食物アレルギーのある子がない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1	必須であり作成している。 交通安全や防災訓練等を活動の内容に取り入れている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	3	何かあったら場合都度連絡をしている。 周知が不十分なところがあるので面談やプライム通信等を利用して周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	ヒヤリハットの用紙があり話し合いをして対策するようにしている。 気づき等があればその都度、ヒヤリハットを作成して職員間で周知している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1	土尿なことが虐待に当たるかをトレーニングで話し対応を話し合った。 年1回法人で必ず研修を実施している。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1	事前に状況を詳しく伝えどの様に対応していくかを説明している。 必用なお子様に対しては必ず行っている。	身体拘束について職員間で共通認識を図っている。必要な時は保護者に説明している。